

「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2) 計画・設計から管理までの各段階における最適化 【2】 新技術の活用 】

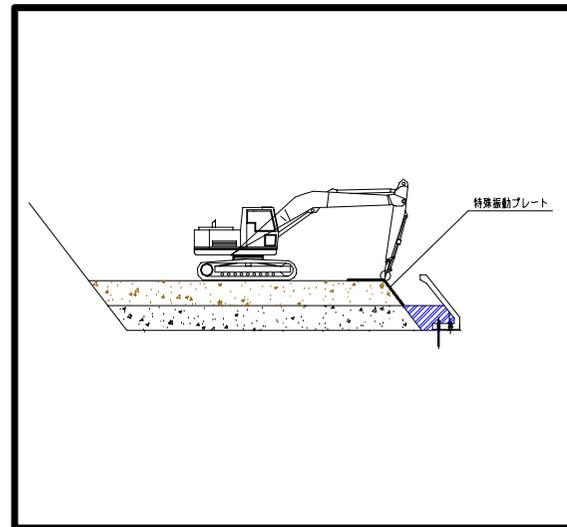
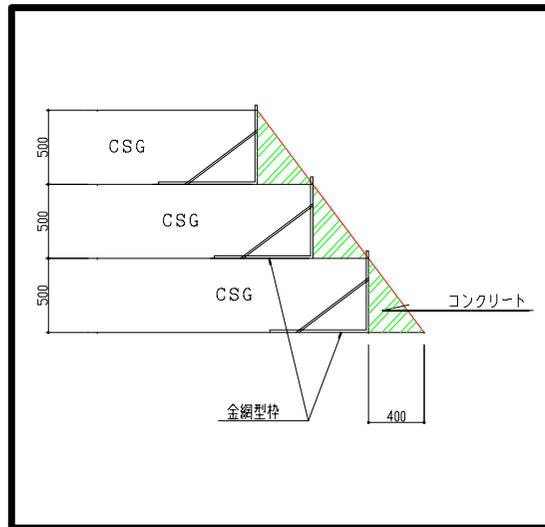
CSGの法肩部転圧方法の改良

工事名or事業名：大保ダム脇ダム本体建設工事

概要：脇ダム沢処理工(CSG)における法肩部について、法肩転圧機を開発し機械化する事で、施工の合理化、コスト縮減を図った。

効果

○機械施工に伴う施工の合理化、省力化に伴うコスト縮減



「公共事業コスト構造改革プログラム」

【 施策名： (2)計画・設計から管理までの各段階における最適化【3】 管理の見直し 】

情報板 形式の変更による維持管理費の低減

工事名：前島道路情報表示装置更新工事

概要：(従来)

A2形電光式表示板

⇒

(新)

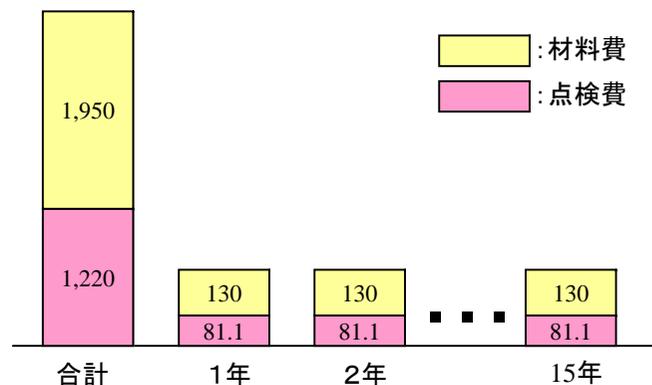
HL4形LED式情報板

効果

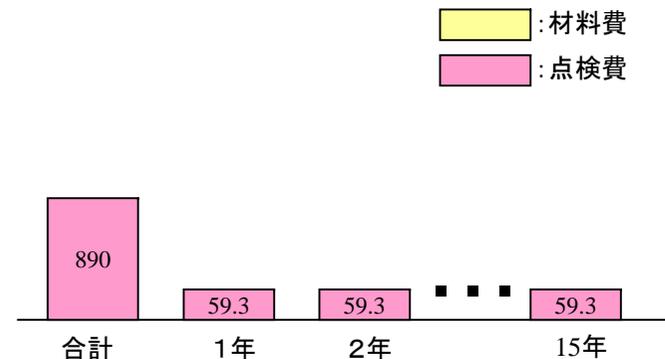
- ・LED式情報板の採用により、ランプ交換の必要がなくなり、維持管理での材料及び点検費用の削減ができた。

■ 情報板維持管理費を、3,170千円から890千円に縮減。
(縮減額 2,280千円、縮減率 約72%)

A2形電光式表示板維持管理費(単位:千円)



HL4形LED式表示板維持管理費(単位:千円)



「公共事業コスト構造改革プログラム」
【施策名：（3）調達最適化 【1】入札契約の見直し】

出来高部分払い方式の導入に向けた試行の実施

◆期待される効果

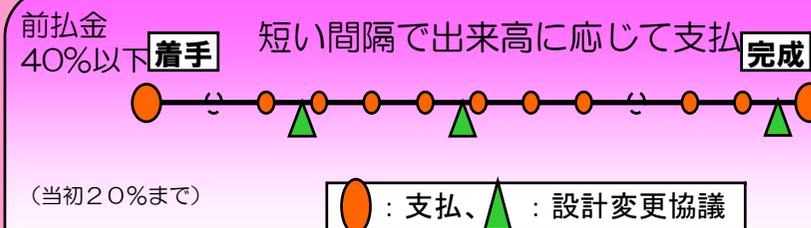
- 受発注者のコスト意識の向上
- 請負者・下請業者への工事代金の速やかな流通による経済効果の早期発現
- 受注者の財務状況の改善 等

◆実施件数 3件試行

従来一般的な方式



出来高部分払い方式



「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」

施策名：（１）工事コストの低減 ２）工事発注の効率化等 ⑨諸手続の電子化等

電子納品の実施により工事発注等の効率化を図る

概要：（従来）

紙による成果品の納品 ⇒ 電子媒体(CD-R)による成果品の納品

◆実施件数 約350件（工事(6000万円以上)約80件・業務(全て)約270件）

◆電子納品の普及促進を目的に電子納品説明会を開催。（計8回）

（新）

効果

公共事業の各事業段階で利用している資料を電子化し共有・再利用することで

①競争性の向上ペーパーレス ②事業執行の効率化 ③品質の向上 ④省スペース化 を図る。

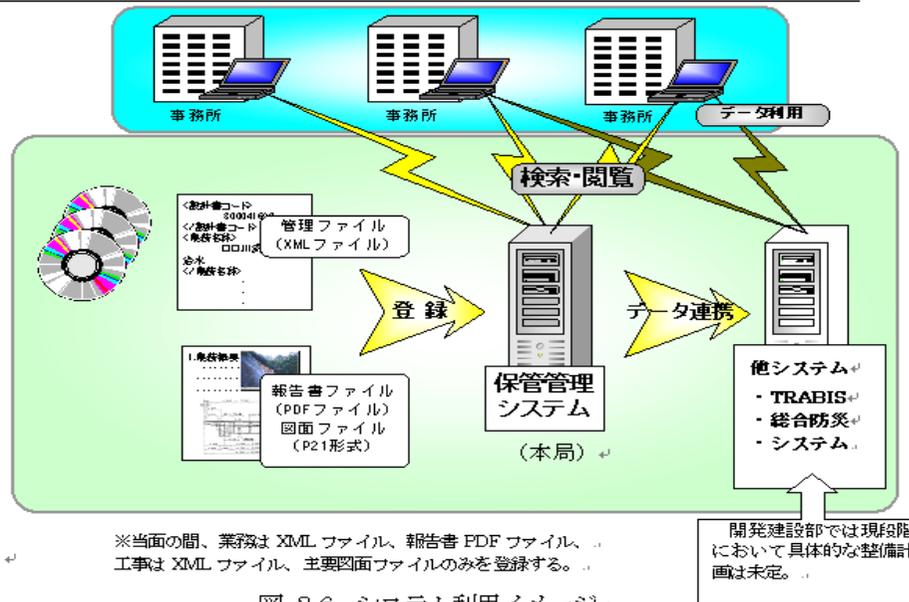


図 8-6 システム利用イメージ



沖縄総合事務局 開発建設部（修）

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名：(3)ライフサイクルコストの低減 Ⅲ③環境と調和した施設への転換 】

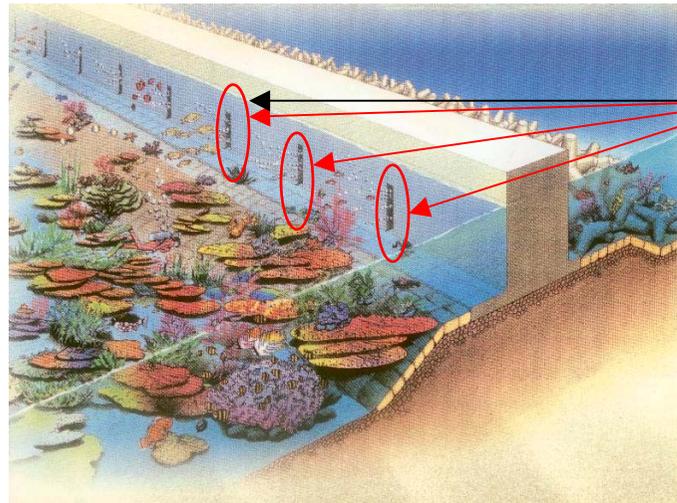
環境調和型港湾施設の整備

概要：防波堤におけるケーソンとケーソンとの目地において、水中部分に空隙部を設け海水交換機能を付加した防波堤である。

効果：

- 港外側と港内側の海水交換を行うことにより、生物の着生を促進することができる。
- ケーソンにおいて、一部空隙を設ける事により容積が通常より削減できるため、コスト縮減が図れる。

生物着生促進型防波堤のイメージ



海水交換を行う空隙部